

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス あんプラス		公表日			2025年 10月 24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			定員に応じた配置は出来ているが、活動内容等を考慮して、より手厚い配置が出来るようにしていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	1階で車いすでも入室が出来る。介助行動の妨げにならないよう、配置等を工夫したり、必要に応じてサポートを行うなどしている。	完全なバリアフリーではなく、利用時に不便がないよう都度改善・対応できるようにしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃は行っており、汚れに気付いた際には都度きれいにするようにしている。	日常清掃以外の細かな部分も、より徹底して行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		療育室・事務室とは分けた形で相談室があり、クールダウンや個別の空間での相談を希望した時などに対応出来る環境がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			振り返りの機会は設けているが、より円滑に進められるよう、また決定内容の周知徹底が出来るようにしていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年必ずアンケートを実施し、可能な限り改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングや毎月の面談などで、意見を伝えられる機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		必要に応じて、今後活用を検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に、社内研修を実施している。区などが開催している研修に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにてプログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		いつでも閲覧できる状態になっており、共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月プログラムを検討する時間を設け、話し合いながら設定している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		複数の職員で立案し、固定化しないようにしている。継続的に行うプログラムと、単発のプログラムを組み合わせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と小集団活動をそれぞれ組み合わせ活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に毎日必ずミーティングを行い、確認事項や注意点、当日の役割分担などを共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		支援終了後に毎日必ずミーティングを行い、その日に実施した内容や様子、気になったこと、課題点などを共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々記録し、翌日に記入漏れがないか確認をしている。記録をもとに、次の課題設定をする等している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも半年に1回は見直しを行い、状況に変化があった際などは、都度見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			複数組み合わせで行っているが、弱い部分もあるためバランスよく出来るように改善を図っていきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて、学校とも連絡をとりながら対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		直接のやり取りはないが、必要に応じて保護者を通して情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現状該当するケースがないが、今後移行するケースが出てきた際には、必要に応じて情報提供を行っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現状スーパーバイズ等の機会はないが、今後機会があれば連携を図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			要望をうかがいながら、今後交流については検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者がお迎えに来た際に、必ずその日の様子や支援内容を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			グループホームなどの情報が知りたいのご意見をいただき、以前グループホームを運営されている方を招いて説明会を実施したことがあるが、今年度は実施していない。ご希望があった際には可能な限り実施していきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始前の体験や契約の際に説明を行っている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		書面・電話・対面など様々な方法で、本人と保護者の意向確認を行っている。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談に加えて、都度申出があった際には面談を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者や兄弟の交流の場や父母の会などの開催は出来ていないため、今後要望をうかがいながら、必要に応じて検討をしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情対応の体制は整備しているが、より周知出来るよう方法を考えていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HUGやInstagram、ホームページなどを活用して、活動報告や今後の予定などの発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ダブルチェックを行う等している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思疎通のためのカードなどを用意している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	招待行事などは行っていないが、季節のイベント等で地域の方に一部ご協力をいただく等している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定しており、訓練も定期的に実施している。	マニュアルはご家族の方が手にとりやすいよう入口に設置をしているが、アンケートの回答からも周知については再度行う必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPはホームページに公開し、定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		発作の有無や服薬状況等については、アセスメント時に記入をしていただいております。変化があった際にはご連絡をいただいております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	医師の指示書に基づく対応をしたケースがない。アレルギーの有無については、全職員が把握している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		必要な訓練は定期的に実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画は玄関に設置し、いつでも閲覧可能となっている。	周知に関しては行っているが、行き渡っていない部分もあるため、今後改善していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際には、再発防止策も含めて記録し、全職員への周知を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修やチェックリストを実施し、必要な時には面談を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		個別支援計画の備考欄に記載をし、実施した場合には適切に記録をし、保護者に報告・説明を行い、同意を得ている。		